牧草及び飼料作物の病害虫防除に当たっての注意事項

牧草及び飼料作物の病害虫防除に当たっては、使用する農薬の種類によって家畜への直接の影響と生産物への汚染があるため、基本的には農薬を使用しない耕種的防除を中心に考える。合理的な栽培管理によって多くの被害を回避することができるので、次の対策を総合的に活用することが大切である。

- 耐病虫性品種の活用
- 輪作体系の確立
- 適正な肥培管理（過度の堆肥施用や未熟堆肥の施用を行わない）
- 作付時期の変更による被害の回避
- 健全な種子の使用
- 草刈りや除草剤の効率的な活用等による病害虫の中間宿主、伝染源、越冬場所の除去
- 低毒性、低残留性農薬の合理的使用